



世界の動き身近な話題

中日新聞



かわら版さんぽみち編集局

〒918-8116 福井市大町2-206-1 福井広報センター内
TEL 0776-28-8619・FAX 0776-28-8602
Eメール osanpo@fukuikoho-c.co.jp

JUST meet
ジャストみ〜て!

日刊県民福井の深堀り動画公開中!
詳しくは
日刊県民福井販売店 で検索を

日刊県民福井 同郷社長

大人も子どもも楽しめる! 記念館&資料館

県内には、興味をひく個性的な記念館や資料館が数多くあります。その一部を今回ご紹介! ぜひ足を運んでみてくださいね。

開館時間、休みなどは変更されることがあります。事前にご確認ください。

越前市が誇る、絵本画家いわさきちひろの聖地



歴史が息づく武生の街中にたたずむ築100年はたつという小さな町家。その離れで1918(大正7)年12月、日本を代表する絵本画家いわさきちひろは生まれた。その町家を整備し、2004(平成16)年に一般に開放されたのが「[ちひろの生まれた家]記念館」だ。1階はちひろの母文江が暮らした大正時代の家屋の趣をイメージ。生家であるここでは、武生町立実科高等学校の教師



であった文江についても詳しく紹介。2階はちひろの東京のアトリエの再現や、季節ごとにテーマを設定した企画展示など、ちひろの絵本画家の活動にスポットを当てた作りになっている。記念館奥に位置する別館では、ちひろや越前市出身の絵本作家かこさとしなどの絵本約800冊を、自由に閲覧できる。

☆企画展「冬の子どもたち」☆
令和4年3月7日(月)まで開催中
ちひろが絵雑誌やカレンダーなどに描いた冬の子どもたちの絵を、ピエログラフ(質感を伴ったデジタルによる画像表現技法)で紹介する

記念館奥に位置する別館。ソファや畳スペースがあり、くつろぎ度満点

プレセント

「ちひろの生まれた家」記念館

- ① 越前市天王町4-14 ② 0778-66-7112
- ③ 午前10時～午後4時
- ④ 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、その他臨時休館日あり。詳しくはホームページhttp://chihironieho.jpを確認を
- ⑤ 一般300円、高校生以下無料 ⑥ 11台
- *ホームページで情報発信中



注目は大正時代の大型モーターポンプ!



約70年間活躍していた大型モーターポンプ。大正時代の大型ポンプが現存しているのは全国的にも非常に珍しいという



水道について楽しく学べる仕掛けがいっぱい。写真手前は発掘された江戸時代の水道管

福井市水道記念館

- ① 福井市足羽1-7-35
- ② 0778-35-6751
- ③ 午前9時～午後4時30分
- ④ 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
- ⑤ 無料
- ⑥ 3台

プレセント



短い手紙が伝える新鮮な感動



一筆啓上賞の入選作品を常設展示している資料館。一筆啓上賞は、徳川家康の家臣、本多重次が陣中から妻に送った短い手紙「一筆啓上火の用心 お仙泣かすな馬肥やせ」(お仙は後の丸岡城主、本多成重の幼名仙千代)をモチーフに1993(平成5)年から作品募集が始まった。国内外から数多く寄せられ、思いが凝縮された短い手紙は読む人の心を動かし共感を生みだした。館内では、第一回からの作品がパネルや趣向を凝らしたモニター画面で紹介されているほか、これまでの受賞作品の検索もできる。入口には丸形の赤いポストが設置され、レターセットや切手が販売されている。3階の古城展望室は丸岡城天守の3階とほぼ同じ面積の造り。上空からの丸岡城や坂井市内の四季折々の映像も必見。

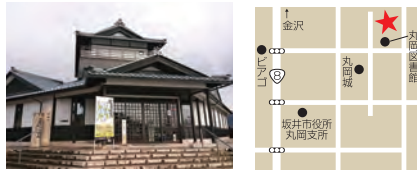


常設展示室

館内中央にある「ふみの庭」。気候がよい時季にはデッキチェアでくつろいだり手紙を書いたりできる

一筆啓上 日本一短い手紙の館

- ① 坂井市丸岡町鶴町3-10-1
- ② 0776-67-5100
- ③ 午前9時～午後5時 ※入館は開館の30分前まで
- ④ 年末年始(12月29日～1月3日)
- ⑤ 展示替え等のため特別休館あり
- ⑥ 高校生以上200円、中学生100円、小学生以下無料
- ⑦ 丸岡城の入城券でも入館できる。
- ⑧ 団体割引や入館料の減免あり。詳しくはホームページなどで確認を
- ⑨ あり
- ⑩ ホームページで情報発信中



浜町散策を楽しみながら歴史を学ぼう



明治時代初期に福井藩に雇用された米国人教師、ウィリアム・E・グリフィスが暮らした住宅の外観を復元した記念館。当時の特徴的な西洋建築、ベランダ・コロニアル様式と日本の伝統的な技法である海鼠(なまこ)壁などが施された和洋折衷の建物が目を引く。館内ではグリフィスの功績を中心に郷土の歴史を紹介。しゃべりだす肖像写真や資料を集めたライブラリー、



グリフィスの目に映ったであろう当時の福井の水彩画などが紹介されていて興味深い。西隣の「おもてなし館」には管理事務所や休憩スペース、トイレがあり、まちなかレンタサイクル「ふくチャリ」の貸し出しポートにもなっている。同館が位置するのは趣ある浜町エリア。散策の途中に訪ねてみるのもお勧めだ。

館内や広場は利用趣旨に応じてレンタルすることができる(要申請)

福井市グリフィス記念館

- ① 福井市中央3-5-4
- ② 0776-50-2911
- ③ 午前10時～午後8時(3～11月は午後7時まで)
- ④ ※入館は開館の30分前まで
- ⑤ 年末年始(12月28日～1月4日)
- ⑥ 無料
- ⑦ なし
- ⑧ ホームページで情報発信中



新聞部×さんぽみち 高校生記者が行く!

高校の新聞部に依頼し、記事を書いてもらう企画第2弾。今回参加してくれたのは、美方高校の新聞部だ。テーマも取材先も全て生徒自身が決め、撮影も含めて取材も全て高校生が担当。今回は嶺南地域の足であるJR小浜線の駅について取材してくれた。

駅舎内にヘアサロン? 加斗駅を支える理容師

昨年開業100周年を迎えたJR小浜線の加斗駅。建設当時から変わらないレトロな駅舎には花々が咲き誇り、待合所には地元小学生からの手づくり座布団がちよこんと置かれている。

そんな加斗駅にある「ヘアサロンつかもと」。店主の塚本朝子さん(73)は、昭和48年に夫の久夫さんと共に加斗駅前にあった実家の理髪店を継いだ。無人化した加斗駅を気にかけて2人で掃除をしたり花を飾ったりしてきれいに保っていた。平成8年、借家だった理髪店の立ち退きを機に切符販売を兼ねて駅舎内で営業を続けることに。3年前に久夫さんを亡くしてから理髪店と駅の仕事を切り盛りしている。朝子さんは毎日、自転車とバスと小浜線を使い続けて通勤。駅の掃除をし、切符販売と予約のお客さんの散髪をこなす。留守にする時は貼り紙で不在を伝え、お客さんが困らないように気を配る。2人で分担していた仕事を1人で担うのは大変だが「体力が続く限り頑張りたい」と笑顔がこぼれた。

店内はどこか懐かしい落ち着いた雰囲気。久夫さんが愛用していた道具は、朝子さんが大切に受け継いでいる。「主人は何にでも一生懸命な人。若いお客さんも多かったから、流行のヘアスタイルを熱心に研究していて尊敬していた」と誇らしげに話した。



出入口には理髪店のサインポール



久夫さん愛用のハサミ



久夫さんのエプロンを着けて仕事に励む朝子さん

ほっこりエピソード

乗り間違いに気づき加斗駅で降りた観光客。待ち時間に髪を切ってあげた。

冬場は電車待ちのお客さんをストーブのある店内に招く。

突如始まるヘアカット 記者が体験 ツカモトの技



「カットしているポーズを撮らせてください」とハサミを握ってもらうと「毛量多いねえ。後ろだけすいちゃろか」と、急ぎよ切ってもらうことになりました。「最近の子はあんまり短くせん方がええんやろ」と私の心を察すると、手早くカットが始まりました。「気持ちいいなー」なんて思っているうちに頭がどんどん軽くなって、あっという間に全体がすっきり。スピーディーさとセーフティーさにびっくりしました。「こんなカット主人に笑われるわ」なんて楽しそうに言う朝子さんは、今も旦那さまと一緒に働いているんだなと思いました。

次の朝学校に行くと、みんな口をそろえて「今の方がいい」と言いました。照れます。このような地元の理髪店を大事にしたいなと思いました。



おっかりスツキリの私

取材したのは私たちです!



美方高校 新聞部

美方高校創立から続く新聞部は、現在1～2年生の10人が所属。学校内のことはもちろん、校外へ取材に行くこともあり、本物の記者顔負けの活動を行っています。

わが家の ペット!



百合子さん 5歳 あわら市
とても人懐っこくお茶目な女の子です。白いソックスをはいています。ティッシュの箱からペーパーを取り出して遊び、よく怒られていますがすぐに忘れてしまうようす(笑)。



(右から時計回りで)
東谷家の茶々丸くん、コベちゃん、ママ、ピビちゃん

越前市
一昨年末、19年8カ月も長生きした末に逝った愛犬と入れ替わるように、野良猫の親子が少しのちゅうちょもなくトコトコ家に入ってきました。ペットロスになっている暇もなく猫育てが始まり、もうすぐ1年です。



北川 ちゃちゃまるくん
(10カ月、ミニチュアダックスフント) あわら市
まだまだヤンチャな男の子です! 散歩がまだ苦手なので早く外に慣れるように頑張ります!



レオくん 13歳
あわら市
物おじしない賢い男の子です。長毛のため、初夏にカットとシャンプーをしてもらっています。おとなしくしていてお利口さんです。

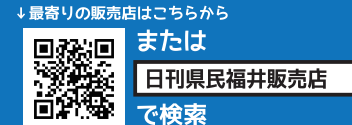
お写真募集中!

中日新聞・日刊県民福井 新聞配達スタッフ 大募集!

未経験の方
大歓迎

家計を助ける
副収入

日々の
健康維持



↓最寄りの販売店はこちら
または
日刊県民福井販売店
で検索

お申し込み・お問い合わせ先
中日新聞・日刊県民福井 読者センター
☎0776-28-8619 ※雇用契約は各販売店との契約になります。

中日新聞社グループ企業 正社員募集

- ◆勤務先/福井市大手3-2-13 中日新聞福井支社分室
- ◆内容/新聞販売店のサポート・電話対応
- ・パソコン入力・さんぽみち製作等
- ◆資格/要普通自動車免許 ◆勤務時間/9:30～18:15
- ◆給与/15万円～
- ◆休日/年間104日※交通費支給、各会社保険完備、有給休暇あり
- ◆応募・問い合わせ先/(株)福井広報センター 福井市大町2-206-1 ☎0776-34-1824 (担当:久保中)



さんぽみちは皆さんの声でできていきます。「気になるお店」や「取材してほしい人」など、最寄りの販売店またはさんぽみち編集局へ!